

## 埼玉の塔管理委員会事業費補助金交付要綱

1 県は、戦没者慰霊のため、埼玉の塔管理委員会に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。

なお、この補助金の交付に関しては、補助金等の交付手続等に関する規則（昭和40年埼玉県規則第15号。以下「規則」という。）に定めるもののほか、次に定めるところによる。

2 補助金の交付の対象となる経費及び補助額は、別表のとおりとする。

ただし、補助額は、当該所要経費の額を超えないものとする。

3 規則第4条第1項の申請書の様式は、様式第1号のとおりとし、その提出期限は、別表のとおりとする。

また、規則第4条第2項に掲げる書類の添付は要しない。

4 規則第7条の交付決定通知書の様式は、様式第2号のとおりとする。

5 埼玉の塔管理委員会会長は、交付決定通知を受けたときは、別に通知するところにより、補助金の請求をするものとする。

6 この補助金は、概算払いで交付する。

7 埼玉の塔管理委員会会長は、知事の要求があったときは、補助金の交付の対象となる事業の遂行の状況について、書面で知事に報告しなければならない。

8 規則第13条の報告書の様式は、様式第3号のとおりとし、提出期限は、事業完了後30日以内とする。

9 埼玉の塔管理委員会会長は、補助事業等に係る収入及び支出等を明らかにした帳簿を備えるとともに、当該収入及び支出等についての証拠書類を整備し、翌会計年度から5年間保管しなければならない。

10 埼玉の塔管理委員会会長は、様式第4号に記載の暴力団排除に関する誓約事項について補助金の交付申請前に確認しなければならず、交付申請書の提出をもってこれに同意したものとする。

## 附 則

この要綱は、平成12年4月1日から適用する。

この要綱は、平成18年12月26日から適用する。

この要綱は、平成29年4月14日から適用する。

この要綱は、令和3年4月1日から適用する。

この要綱は、令和4年9月1日から適用する。

別 表

補助対象経費、補助金額及び提出期限

補助金の交付の対象となる経費	補 助 金 額	提 出 期 限
埼玉の塔の維持管理に関する経費	予算範囲内で別に定める額	当該年度5月31日
埼玉の塔の追悼式開催に要する経費	予算範囲内で別に定める額	当該年度9月30日

様式第1号

# 年度 埼玉の塔管理委員会事業費補助金交付申請書

番 年 月 日 号

埼玉県知事 様

住所又は主たる事務所の所在地  
氏名又は名称及び代表者の氏名

下記により 年度埼玉の塔管理委員会事業費補助金の交付を受けたいので、補助金等の交付手続等に関する規則第4条の規定に基づき、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

## 記

- 1 補助に係る経費及び補助金交付申請額 (単位：円)

補助に係る経費	補助金交付申請額
合 計	

- 2 事業計画書 別紙1のとおり  
3 予算（見込）書抄本 別紙2のとおり

# 事業計画書

1 事業名	
2 事業実施期間	
3 事業の目的及び 内容	
4 交付を受けよう とする補助金額 の積算基礎	

## 別紙 2

## 年度埼玉の塔管理委員会歳入歳出予算書抄本

(歳入)

(単位：円)

科 目			予算額	摘 要
款	項	目		
合 計				

(歳出)

(単位：円)

科 目			予算額	摘 要
款	項	目		
合 計				

上記は、 年度歳入歳出予算書抄本に相違ありません。

年 月 日

埼玉の塔管理委員会  
会長

様式第 2 号

年度 埼玉の塔管理委員会事業費補助金交付決定通知書

番 号  
年 月 日

埼玉の塔管理委員会  
会 長 様

埼玉県知事 印

年 月 日付け埼玉第 号で申請のあった 年度埼玉  
の塔管理委員会事業費補助金については、下記のとおり交付を決定する。

記

1 補助に係る経費及び補助金交付決定額

補 助 に 係 る 経 費 名	補助金交付決定額
合 計	

2 支払方法 概算払

3 交付条件

- (1) 事業を変更し、中止し、又は廃止しようとする場合には、事前に知事の承認を受けること。
- (2) この補助事業に係る収入及び支出等を明らかにした帳簿を備えるとともに、当該収入及び支出等についての証拠書類を整備し、当該事業完了後5年間保管しなければならないこと。

# 年度埼玉の塔管理委員会事業費補助金実績報告書

番 号  
年 月 日

埼玉県知事 様

住所又は主たる事務所の所在地  
氏名又は名称及び代表者の氏名

年 月 日付け 第 号で補助金の交付決定の通知を受けました。年度埼玉の塔管理委員会事業費補助事業が完了しましたので、補助金等の交付手続等に関する規則第13条の規定に基づき、関係書類を添えて下記のとおり報告します。

## 記

### 1 補助に係る経費、補助事業の実施期間及び補助金交付決定額（単位：円）

補助に係る経費	補助事業の実施期間	補助金交付決定額
合 計		

- 2 補助事業の成果 別紙1のとおり
- 3 補助事業に要した経費の精算に関する事項 別紙2のとおり
- 4 決算（見込）書抄本 別紙3のとおり



# 成 果 表

1 補助事業の名称	
2 補助事業の成果	

# 精 算 書

1 補助事業の名称	
2 交付決定額	
3 支出済額	
4 差引過不足額	
5 補助金使途内訳	

## 年度埼玉の塔管理委員会歳入歳出決算書抄本

(歳入)

(単位：円)

科 目			決算額	摘 要
款	項	目		
合 計				

(歳出)

(単位：円)

科 目			決算額	摘 要
款	項	目		
合 計				

上記は、 年度歳入歳出決算書抄本に相違ありません。

年 月 日

埼玉の塔管理委員会  
会長

## 暴力団排除に関する誓約事項

当事業者は、補助金の交付の申請をするに当たって、また、補助事業の実施期間内及び完了後においては、下記のいずれにも該当しないことを誓約します。この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

### 記

- (1) 法人等（個人、法人又は団体をいう。）が、暴力団（埼玉県暴力団排除条例（平成23年埼玉県条例第39号）第2条第1号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）であるとき又は法人等の役員等（個人である場合はその者、法人である場合は役員、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。以下同じ。）が、暴力団員（同条例第2条第2号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）であるとき。
- (2) 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的を持って、暴力団又は暴力団員を利用するなどしているとき。
- (3) 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与しているとき。
- (4) 役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれと社会的に非難されるべき関係を有しているとき。
- (5) 補助事業を実施するに当たり、法人等が、第三者と委託契約その他の契約（以下「委託契約等」という。）を締結する場合に、その相手方が（1）から（4）までのいずれかに該当することを知りながら、当該者と契約を締結したと認められるとき。
- (6) 補助事業を実施するに当たり、法人等が、（1）から（4）までのいずれかに該当する第三者と委託契約等を締結する場合（（5）に該当する場合を除く。）に、埼玉県が法人等に対して当該委託契約等の解除を求め、法人等がこれに従わなかったと認められるとき。

所在地：

---

事業者名：

---

代表者職・氏名：

---